

公益社団法人南城市シルバー人材センター
令和4年度事業報告

I. 概要

令和4年度は、後半になって新型コロナウイルス感染症の新規感染者の減少や感染症類別変更等、長いトンネルを抜けようやく収束に近づき国民生活も平時の状態に戻りつつある。コロナ禍の影響は当センター事業にも少なからず影響をもたらしたが、コロナ禍以前の状態に回復しつつあるといえる。

このような中、当センターは、第4次中期事業計画の2年目に当たり、目標達成へ向けて、会員・役職員が一体となって事業推進に取り組んできたが、年度途中、事務所移転を余儀なくされ、そのため就業の中止等により前年度に比べ契約額では、78万3,393円の減となった。また、就業延べ人員及び配分金についても同様な原因で減となった。会員については、高齢による退会者が増え7人の減となったが、就業率においては5.5ポイントの増となった。

独自事業のグリーンエコリサイクルセンター事業については大型機械等の経年劣化による故障等もあり、これをリース対応にするなど改善を図った。また、ヘナ・インディゴ栽培事業については雑草処理の経費等の比重が大きいため、その対策の一環としてインディゴについてはマルチビニールを活用、植え替えするなど圃場管理の改善を図った。

なお、派遣事業については派遣人員の削減により減となった。社会参加活動として取り組んだボランティア活動は前年度並みの実績となったが、シルバー事業の普及啓発に大きく繋がった。

令和4年度の事業状況の概要は次のとおり。

項目	4年度	3年度	増減
会員数	225人	232人	△7人
契約金額	98,210,920円	98,994,313円	△783,393円
就業率	69.3%	63.8%	5.5%
就業延人員	15,775人日	15,860人日	△85人日
配分金	69,335,486円	70,519,696円	△1,184,210円
ボランティア数	188人日	187人日	1人日
派遣事業延人日	741人日	1,217人日	△476人日

※南城市人口 46,000人 60歳以上 14,862人 (32.3%) 令和5年3月末日現在

Ⅱ. 事業実施報告

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業者、官公庁等から有償で引き受け、高齢者の能力、希望に応じて請負又は委任により、除草や屋内外の清掃、大作業、福祉・家事援助サービス、農作業、デマンドバスオペレーター業務、ごみ回収等の就業を提供した。

<実績> 就業延人日 14,669 人日 ・受注件数 441 件

② 独自事業

高齢者の就業機会を拓げるため、高齢者独自の創意と工夫によるグリーンエコリサイクル事業と並行して染料の原料（ヘナ、インディゴ栽培）を行った。

<実績> 就業延人日 1,106 人日

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対し、有料の職業紹介事業を行った。

<実績> 件数 0 件

② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行った。

<実績> 件数 18 件 ・就業延人日 741 人日 ・契約額 3,732 千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会については新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。

(4) 上記(1)~(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の信頼と理解が得られるよう、市民、事業所、官公庁に対し、事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知すると共に、高齢者自身に対する意識啓発を行った。

＜具体的取り組み＞

- ア 多様な知識・資格・能力を持つ高齢者への事業参加の呼びかけ
名刺カードを作成し、会員一人ひとりが地域の高齢者に配布し、事業への参加を呼びかけた。
 - イ シルバー広報紙「くがに」の発行
シルバー広報紙「くがに」を3回発行し、シルバー事業の意義や理念を周知するとともに、会員の声や就業状況、ボランティア活動等を紹介し、高齢者の意識啓発につなげた。
 - ウ 普及啓発促進月間（10月）の推進
南城市役所に隣接する公共駐車場の清掃ボランティア活動を行い、シルバー事業の普及啓発につなげた。
・ボランティア参加数 50名
 - エ マスメディアへの活動情報の提供
ボランティア活動等の状況を市の広報担当に情報提供した。
 - オ ホームページを利用した情報提供
ホームページを利用し、シルバー事業の内容や活動情報を提供した。
 - カ その他、必要な事項（チラシ、パンフレットの配布等）
市民、事業所、官公庁等に対し、チラシ、パンフレット等を配布し、シルバー事業の理念を周知した。
- ② 安全・適正就業の推進
- センターから提供した仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、高齢者の安全意識の高揚と啓発活動を行った。
- ア 安全・適正就業推進委員会の開催。（未実施）
 - イ 安全・適正就業推進員の配置と安全パトロールの実施
・安全・適正就業推進委員会による巡回指導。（18回）
 - ウ 安全・適正就業強化月間（7月）の設置と大会の開催
・安全・適正就業推進大会 2回開催
（7月27日 22名参加）（1月25日 22人参加）
 - エ 「適正な運営のための受注基準」に基づく受注の徹底
就業の受注においては、受注基準を順守し、適正な運営に努めた。
 - オ その他、必要な事項（安全・適正就業に関する朝礼での情報提供等）
当センターで発生した事故の状況及び県連合から提供された、県内全センターの事故発生情報を朝礼で報告し、再発防止に努めた。
- ③ 調査研究
- 時代の要請に対応した事業展開を図るため、高齢者の就業に対する意識と就業実態に関する調査やシルバー事業への評価等の調査を行った。

- ア シルバー事業に対する一般高齢者や会員の意識調査の実施
新規入会者を対象にシルバー事業に対する意識調査を行った。
 - ・新規入会者 24人
- イ 一般家庭、民間事業者、官公庁等の意識調査の実施
発注者を対象にシルバー事業に対する意識調査を実施した。
 - ・発注者 2件
- ④ 就業分野の開拓・拡大等
高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、職業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を行った。
 - ア 会員・職員の事業所等への開拓訪問の実施
 - ・訪問件数 10件
 - イ 就業機会開拓員の配置と就業開拓の推進
 - ・新規開拓 59件
 - ウ 会員の知識・資格等を活用した独自事業や新たな就業分野の検討
汚泥発酵堆肥づくり（15k・5k）や、白髪染めのヘナ、インディゴ栽培により会員の就業拡大に繋がった。
- ⑤ 相談・情報提供
入会を希望する高齢者に対し、入会説明会を実施し、高齢者からの相談、または、地域における働く高齢者のワンストップサービスセンターとして、相談、情報提供を行った。
 - ア 市内在住高齢者に対して入会説明会の開催
 - ・年間 12回開催 36人参加 24人入会
 - イ 高齢者への相談対応
入会説明会に併せて相談対応を行った。 36人参加
- ⑥ 社会参加活動の推進
ボランティアによる社会参加を希望する高齢者に対し、市民、事業所、官公庁と連携してボランティア活動を推進した。
 - ・地域と連携したボランティア活動及びその他ボランティア活動
延 188人参加
- (5) 運営体制
 - ① 理事会活動の強化
センター運営体制の充実強化を図るため、次のとおり取り組んだ。
 - 会議の開催
 - ・定時総会（5月28日）
 - ・理事会 10回
 - ・三役会議 13回

- ア 会員組織の強化
 - ・ 地域班長会議 1回
 - ・ 職群班会議 2回
- イ 事務局体制
 - ・ 職員会議 12回
- ウ その他必要な会議の開催
 - ・ 連合主催事務局長会議及び職員研修
- エ 関係行政機関及び各種団体との連携
 - ・ 南城市生きがい推進課との事業調整会議 3回
 - ・ 南城市田園整備課との事業調整会議 1回
 - ・ 南城市観光商工課との事業調整会議 2回
 - ・ 南城市教育施設課との事業調整会議 1回